

各協同組合からのお知らせ

MELON の協力団体である各協同組合が取り組んでいる、環境に関する情報をご紹介します。

宮城農業協同組合中央会から

JA グループは「JA 女性エコライフ宣言」を応援します

JA 女性 エコライフ宣言

私たちは JA 綱領、JA 女性組織綱領に則り、地域の農業と美しい環境を次世代に継承し、すみよい地域社会づくりのために、協同活動を実践しています。

地球温暖化問題は、地球上の全ての生物にとって最重要問題のひとつになりました。地域生活を営む私たち一人ひとりが、地球温暖化防止を自らの使命と受け止め、少しずつでも着実に取り組みを実践するため、次のことを宣言します。

1. 環境問題に関心を持ち、仲間とともに自主的な学習活動を行ないます。
1. 日々の暮らしの中に省エネ、エコライフを取り入れます。
1. 仲間とともに、地域に地球温暖化防止の意識を啓発し、エコライフ運動を実践します。



©MIC

みやぎ生活協同組合から

「冬の省エネにチャレンジ!!」

参加者募集

冬場は暖房などの光熱費が増える季節です。一般に家庭で暖房を使用した時に出る CO₂ は、冷房時の 6 倍以上になるといわれています。しかし、暖房を効率よく行う、ウォームピズなど様々な工夫で、冬こそ省エネで家庭からの CO₂ 量を減らしましょう。光熱費の節約にもなります。

チャレンジするには「冬の省エネヒント集」、取り組み用紙を送ります。HP からダウンロードできます（11 月中旬ころ開設予定）。

取り組み方法：「冬の省エネのヒント」などを参考に 1 ヶ月間省エネに取り組みます。電気・ガス「使用量のお知らせ」（検針表）を参照して、報告書に使用量と料金を記入します。「お知らせ」に記載されている前年同月の使用量も記入し比較します。

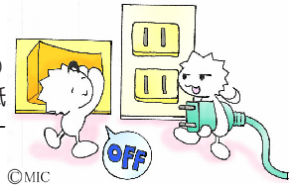
期間：2010 年 1 月～2 月の 1 ヶ月間
(2 月分の検針表で比較)

参加費：無料

申込締切：

2009 年 12 月 18 日（金）

結果報告：みやぎ生協情報紙
エイブル 6 月号紙上、ホームページ



©MIC

申込方法 住所・氏名・電話番号、企画名を明記し、ハガキ・FAX・メールのいずれかで下記までお申送ください。
〒981-3194 仙台市泉区八乙女 4-2-2
みやぎ生協生活文化部環境活動事務局
TEL 022-218-3880 FAX 022-218-3663
E-mail sn.mkankyok@todock.jp



MELON20 周年をめざせ!

50 人リレートーク

第 28 回目の執筆者

佐々木修一さん

(長沼水環境ネットワーク
設立発起人会 事務局)

長沼は登米市迫町の中央部に位置し、周囲約 11.1 km、湛水面積 3.2 km、最も深いところは 2.8 m で、宮城県内最大の湖沼です。

昭和 30 年代までの長沼は、水質が大変良く、水が飲めエビやジュンサイなどの宝庫でした。エビは市内はもとより市外にも流通し、エビ餅や惣菜用として親しまれてきました。また、長沼の夏の風物詩ジュンサイは海外にも輸出されるほどでした。

しかし、昭和 40 年代から家庭雑排水などにより汚染は進み、今では夏にはアオコが水面を覆い、豊かだった生態系は水草やエビなどが減少し、移入種であるブラックバスの影響も重なって、以前と比較できないほど環境が悪化してしまいました。

このことから、長沼の水質改善と生態系の修復を図り、地域づくりにも結びつけるため、地域の方々が中心となった「長沼水環境ネットワーク」を設立することになりました。現在、長沼水環境ネットワーク発起人会を立ち上げ、設立に向けて協議を重ねています。

長沼水環境ネットワークは、多くの方々が長沼の恵みを享受できるよう「50 年前の豊かな自然の再現」をテーマとして、ジュンサイなどの水草やエビの再生、伊豆沼や蕪栗沼をつないだエコツーリズムの推進、長沼を再現するビオトープづくりなどに取り組んでいく予定です。

現在、設立発起人 22 人、事務局ボランティアスタッフ 10 人で、本年度の設立に向けて準備を進めているところです。

… 次号執筆者紹介 …

植村千枝氏

青葉山の緑を守る会の代表を務める。

